

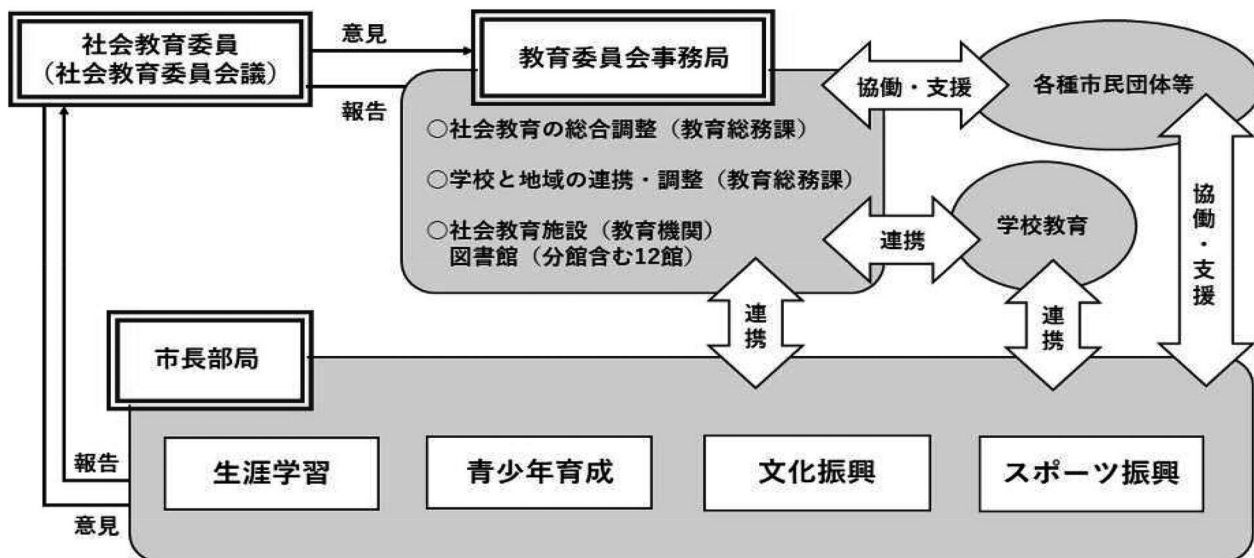
社 会 教 育

I 社会教育

社会教育の現状

近年、市民の生活様式の多様化やNPOをはじめとする多種多様な市民活動の盛り上がりの中で、生涯学習・社会教育を取り巻く状況は刻々と変化しており、これまで社会教育が担っていた役割に捉われない対応が求められている。

現在、静岡市の社会教育の推進体制は以下の図のとおりであり、このような体制のもと、社会教育に関する各種事業に対する指導・助言のほか、各種団体への支援を行っている。



II 図 書 館

市民の教養と文化の発展に寄与することを目的として、旧清水市立図書館が昭和6年9月に、また、旧静岡市立図書館が昭和44年12月に開館した。以来、図書館サービス活動を行ってきたが、近年の多様化、増大する文化的ニーズに応えるため、昭和59年7月に中央図書館、平成4年12月に清水中央図書館をそれぞれ建設・移転するとともに、静岡地域においては地域館の建設を進めてきた。平成18年3月蒲原町との合併により蒲原図書館を加え、平成20年6月には市立麻機小学校の余裕教室を整備した中央図書館麻機分館が開館した。さらに、平成21年9月に中央図書館美和分館が生涯学習施設、市民サービスコーナーとの複合施設として開館した。同分館を加えて現在以下の12館体制で市民に対する図書館サービスを実施している。

1 概 要

館 名	所在地・電話番号	構 造 ・ 規 模	開館年月日
中 央 図 書 館	葵区大岩本町29番1号 TEL 054-247-6711	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階 地下1階 延床面積5,343.37㎡	昭和59年7月18日 (令和2年から3年 かけ大規模改修工事) 令和3年8月5日再開館
(移動図書館)	移動図書館車1台「ぶっくる」を中央図書館へ配置 市内18か所のステーションを原則2週間に1回の割合で巡回		昭和54年9月10日
御幸町図書館	葵区御幸町3番地の21 TEL 054-251-1868	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上21階地下2階建の内4・5階部分 延床面積2,074.17㎡	旧追手町図書館 (昭和61年8月14日 開館) から移転 平成16年9月17日
薬科図書館	葵区羽鳥本町5番9号 TEL 054-278-4100	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建の内3階部分 延床面積955.63㎡ (共用部分を含む)	平成元年7月1日 (令和5年から6年 かけ大規模改修工事) 令和6年4月20日再開館
西 奈 図 書 館	葵区瀬名二丁目32番43号 TEL 054-265-2556	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階建の内1階・一部2階部分 延床面積1,536.34㎡ (共用部分を含む)	平成8年4月23日
北 部 図 書 館	葵区与一六丁目17番10号 TEL 054-653-1817	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階建の内1階部分 延床面積1,483.89㎡ (共用部分を含む)	平成15年4月30日
南 部 図 書 館	駿河区南八幡町3番1号 TEL 054-288-2151	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階 地下1階の内1階・一部地下、2階部分 延床面積5,054.85㎡ (共用部分を含む)	平成4年7月21日
長 田 図 書 館	駿河区上川原13番1号 TEL 054-259-7878	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階建の内2階・一部1階部分 延床面積1,687.32㎡ (共用部分を含む)	平成9年4月22日
清水中央図書館	清水区入江岡町15番23号 TEL 054-354-1331	鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階 延床面積4,880.10㎡	平成4年12月1日
清水興津図書館	清水区興津本町829番地 TEL 054-360-4311	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建の内2階部分 延床面積1,462.85㎡ (共用部分を含む)	平成16年6月13日
蒲 原 図 書 館	清水区蒲原新田一丁目 22番22号 TEL 054-388-3456	鉄筋コンクリート造 地上3階 延床面積1,160.80㎡	平成2年4月26日
中 央 図 書 館 麻 機 分 館	葵区有永町2番43号 TEL 054-248-5035	鉄筋コンクリート造 地上3階建の内1階部分 延床面積593.26㎡ (共用部分を含む)	平成20年6月13日
中 央 図 書 館 美 和 分 館	葵区安倍口団地5番1号 TEL 054-296-6501	鉄骨造 地上2階建の内1階部分 延床面積497.00㎡ (共用部分を含む)	平成21年9月5日

2 図書館業務と運営

(1) 業 務

- ア 図書館資料の収集、整理及び保存と貸出し
- イ 図書館資料の利用についての案内及び相談業務
- ウ 情報及び参考資料の紹介、提供
- エ 読書会、講習会、資料展示会等の開催及び奨励
- オ 図書館関係団体等との連絡調整及び指導育成
- カ 子どもの読書活動推進に関すること
- キ 移動図書館の運営

(2) 運 営

名 称	休 館 日	開 館 時 間
中 央 図 書 館 御 幸 町 図 書 館 南 部 図 書 館 清 水 中 央 図 書 館	◎ 国民の祝日の次の平日 ◎ 毎月第2月曜日（国民の祝日に当たるときはその翌日） ◎ 毎月第4水曜日（国民の祝日に当たるときはその翌日） ◎ 資料点検期間（6月中の10日間以内） ◎ 年末年始（12月28日～1月5日）	◎ 平日（月～金曜日） 9時30分～19時00分 （御幸町図書館は20時00分まで） ◎ 土・日曜日、国民の祝日 9時30分～17時00分
藁 科 図 書 館 西 奈 図 書 館 北 部 図 書 館 長 田 図 書 館 清 水 興 津 図 書 館 蒲 原 図 書 館 中央図書館麻機分館 中央図書館美和分館	◎ 毎週月曜日 ◎ 国民の祝日 ◎ 毎月第4水曜日（国民の祝日に当たるときはその翌日） ◎ 資料点検期間（6月中の10日間以内） ◎ 年末年始（12月28日～1月5日）	◎ 平日（火～金曜日） 9時30分～19時00分 （麻機分館・美和分館は17時00分まで） ◎ 土・日曜日 9時30分～17時00分

3 利用状況（令和6年度）総計

館名 内訳	中央	移動図書館	麻機分館	美和分館	御幸町	薬科	西奈	北部	南部
蔵書冊数(冊)	439,471	20,748	65,117	65,014	152,186	87,740	179,546	121,140	204,559
登録者数(人)	22,694	838	1,816	1,157	18,778	4,105	9,348	7,920	24,144
開館日数(日)	315	171	280	279	318	264	279	279	317
入館者数(人)	311,331	—	34,959	39,985	325,864	64,444	130,970	99,269	284,919
貸出者数(人)	173,507	6,106	17,741	17,046	127,289	23,877	72,525	50,473	172,812
個人貸出点数(点)	659,389	26,162	70,384	57,785	306,421	98,032	297,111	215,980	689,489
団体貸出冊数(冊)	1,788	740	47	87	866	824	108	717	1,904
AVコーナー(人)	9	—	—	—	—	—	—	—	—
おはなし会(人)	2,111	—	60	129	300	341	936	563	1,543
予約件数(件)	18,581	1,272	1,924	3,191	17,438	2,762	8,520	5,594	19,581
レファレンス(件)	1,329	—	1,335	2,080	3,019	1,741	1,394	2,124	2,886
コピー枚数(枚)	10,022	—	165	302	7,465	652	1,525	344	3,295

館名 内訳	長田	清水中央	清水興津	蒲原	電子図書館	Web	合計① (電子図書館除く)	合計② (電子図書館含む)
蔵書冊数(冊)	177,118	494,267	113,683	105,863	2,782	—	2,226,452	2,229,234
登録者数(人)	10,827	20,827	5,506	3,073	—	—	131,033	131,033
開館日数(日)	279	316	280	279	—	—	—	—
入館者数(人)	126,605	199,989	72,590	49,396	—	—	1,740,321	1,740,321
貸出者数(人)	76,514	125,814	36,168	19,998	15,882	—	919,870	935,752
個人貸出点数(点)	293,592	482,338	145,325	74,265	24,046	—	3,416,273	3,440,319
団体貸出冊数(冊)	1,973	704	5,526	987	—	—	16,271	16,271
AVコーナー(人)	—	—	—	9	—	—	18	18
おはなし会(人)	918	994	174	121	—	—	8,190	8,190
予約件数(件)	7,313	16,672	4,420	2,493	12,834	511,007	620,768	633,602
レファレンス(件)	693	3,877	813	2,158	—	—	23,449	23,449
コピー枚数(枚)	919	5,939	426	547	—	—	31,601	31,601

※移動図書館の開館日数は、巡回日数である。

※薬科図書館は大規模改修のため令和5年5月1日から令和6年4月19日まで休館。

※電子申請（令和6年3月1日開始）による登録者は中央図書館の件数に含む。

※電算システム変更（令和6年3月1日）に伴い、令和6年3月1日以降はWebによる貸出資料の延長は貸出回数に含まない。

III 博 物 館

1 登呂博物館

登呂博物館は、登呂遺跡と一体化した博物館として、遺跡の保存と活用及び出土品の保管・展示を行っている。また、弥生時代の登呂遺跡の生活を体験する体験学習をはじめ、様々なイベントや講座を開催するなど教育普及活動に努めている。

(1) 概 要

ア 所 在 地	静岡市駿河区登呂五丁目10番 5 号
イ 開 館 時 間	9 時00分～16時30分
ウ 休 館 日	月曜日（国民の祝日を除く）、国民の祝日の翌日、年末年始（臨時休館あり）
エ 観 覧 料	

個人	一般	1 回につき	300円
		回数券（5 回分）	1,400円
	高校生・大学生	1 回につき	200円
		回数券（5 回分）	930円
	小・中学生	1 回につき	50円
		回数券（5 回分）	230円
団体（30名以上）	一般	1 人 1 回につき	220円
	高校生・大学生	1 人 1 回につき	150円
	小・中学生	1 人 1 回につき	40円
※市内に在住し又は通学している小・中学生は無料 ※市内に住む70歳以上の方は無料 ※特別展開催中は、特別料金			

芹沢銈介美術館との共通券

個人	一般	580円
	高校生・大学生	360円
	小・中学生	120円
団体（30名以上）	一般	460円
	高校生・大学生	280円
	小・中学生	90円

オ 建 物 構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
	敷地面積 2,841.5㎡ 建築面積 1,259.64㎡ 延床面積 2,296.52㎡
	1 階 弥生体験展示室、図書・情報コーナー、登呂交流ホール、ミュージアムショップ
	2 階 常設展示室、特別・企画展示室、収蔵庫、事務室
	竣工 平成22年 3 月

(2) 基 本 方 針

登呂遺跡の保存と後世への継承、有意義で幅広い活用に努める。また、登呂遺跡の発掘調査によって明らかにされた農耕稲作文化とその発掘調査がもたらした意義を伝承するため、博物館の内外で様々な活動を展開する。そして、登呂遺跡が伝える歴史や文化あるいは地域について、豊かな実感をもって学ぶことができる場となり人々の活気溢れる集いと温もりのある交流を生み出していく役割を果たすことを目的とする。

(3) 利用状況（令和6年度）

総入館者数：167,362人 下表はそのうちの観覧者（2階展示室への入場者）数

区 分	一般（人）	高校・大学生（人）	中学生以下（人）	合計（人）
個 人	18,402	1,607	3,439	23,448
団 体	588	47	55	690
無料、減免	2,237	208	10,141	12,586
合 計	21,227	1,862	13,635	36,724

(4) 運営と事業

ア 運 営

- (ア) 登呂遺跡からの出土品を中心とした常設展や各テーマに基づく特別展・企画展の開催、また資料の保管を行う。
- (イ) 博物館資料に関する専門的調査、展示及び保管について技術的研究を行う。
- (ウ) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究報告書等、各種印刷物の作成及び頒布を行う。
- (エ) 教育普及活動として、子どもから大人まで各年齢層を対象とした各種講座・講演会・イベントを行う。
- (オ) 博物館に登録しているボランティア向けの研修を行う等、市民ボランティアの育成を行う。
- (カ) 静岡市立登呂博物館協議会を置き、運営について協議する。

イ 事業予定（令和7年度）

種 別	名 称	期 間	内 容
企 画 展	①しずおかタイムトラベル2025	4月26日～6月29日	登呂遺跡のあった弥生時代の前後の時代にあたる縄文時代から古墳時代に関連する出土品を中心に、考古学や発掘調査によってみられる静岡市の歴史を紹介する。
	②いせきのZOO	7月19日～9月15日	骨角器や動物形の出土品、動物の名前が付けられた資料など動物に関わる出土品を展示し、人々と動物の繋がりを紹介する。
	③大昔へのまなざし	10月4日～12月7日	先祖たちの社会・生活風景を知ることが江戸時代からの大きな疑問だった。登呂遺跡の発掘調査以降、表現者は発掘調査成果を基にして大昔の様子がわかるようにイメージを膨らませた作品をつくった。そうした作品を通して、大昔の生活イメージが社会にどう定着したかを紹介する。
	④駿河国分寺展	1月10日～3月22日	史跡指定60周年を記念し、駿河国分寺・片山廃寺跡がどのような寺院だったのか、これまでの発掘調査の歴史や成果、出土品などから駿河国分寺を紹介します。

2 芹沢銈介美術館

静岡市の生んだ染色家で名誉市民、重要無形文化財保持者であり、文化功労者の栄誉を受けた芹沢銈介の功績をたたえとともに、芹沢芸術を永く後世に伝えるため、その作品とコレクションを保存展示して、薰り高い芸術の感銘の共有と郷土文化の高揚を図っている。

また、白井晟一の設計による「石水館」と呼ばれる建物は、登呂遺跡の自然に溶け込んだ天然素材で構成され、平成10年に建設省の「公共建築百選」の一つに選ばれている。

(1) 概要

ア 所在地 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

イ 開館時間 9時00分～16時30分

ウ 休館日 月曜日（国民の祝日を除く）、国民の祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始
展示替期間、その他臨時休館日

エ 入館料

個人	一般	1回につき	420円
		回数券（5回分）	1,990円
	高校生・大学生	1回につき	260円
		回数券（5回分）	1,150円
	小学生・中学生	1回につき	100円
		回数券（5回分）	470円
団体	一般	1人1回につき	370円
	高校生・大学生	1人1回につき	200円
	小学生・中学生	1人1回につき	80円
※静岡市在住の70歳以上の方・小中学生（通学含む）、未就学児無料。障がい者手帳等の提示により、本人及び同伴者1名は無料。			

オ 建物構造

(ア) 本館（石水館）

鉄筋コンクリート造銅板葺平屋建

敷地面積 3,799㎡ 延床面積 1,261.58㎡

展示室10室、特別室、収蔵室、研究室、事務室、映写室、機械室

竣工 昭和56年5月

(イ) 別館収蔵庫

鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 405.5㎡

竣工 平成2年2月15日

(ウ) 芹沢銈介の家（東京都蒲田から移築）

木造2階建

敷地面積 485.06㎡ 延床面積 106㎡

移築年月日 昭和62年9月14日

(2) 基本方針

芹沢銈介美術館は、芹沢芸術を永く後世に伝えるとともに、美術に対する知識の向上と文化の発展に寄与する。

(3) 利用状況（令和6年度）

区分	一般(人)	学生(人)	中学生以下(人)	合計(人)
個人	14,060	708	539	15,307
団体	169	0	0	169
無料、減免など	15,300	104	1,262	16,666
合計	29,529	812	1,801	32,142

(4) 運営と事業

ア 運 営

- (ア) 芹沢銈介の染色品、下絵等の作品及び工芸品コレクションの展示及び保管を行う。
- (イ) 美術館資料に関する専門的調査、展示及び保管について技術的研究を行う。
- (ウ) 美術館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究報告書等、各種印刷物の作成及び頒布を行う。
- (エ) 美術館の普及活動として、講演会、講座、その他美術館イベントを行う。
- (オ) 静岡市立芹沢銈介美術館協議会を置き、運営について協議する。

イ 事 業（令和7年度）

種 別	名 称	期 間	内 容
企 画 展	四季を染める 芹沢銈介の春夏秋冬	4月1日～6月15日	作品及びコレクションの 紹介
	絵本と装幀 芹沢銈介の本の仕事	7月1日～9月23日	
	芹沢銈介生誕130年記念展 型紙 美しい染物への約束	10月7日～12月7日	
	語り合う布たち 芹沢銈介が集めた世界の染織	1月4日～3月15日	
講 座 等	年5回を予定		

3 静岡市歴史博物館

静岡市歴史博物館では、「静岡の過去を学び、今を知る。そして、未来を考える。」をテーマに、静岡地域の人とまちの歴史を紹介している。また、「歴史探求」・「地域学習」・「観光交流」を3つの柱として、調査・研究や教育普及、観光交流事業に努めている。

(1) 概 要

- ア 所 在 地 静岡市葵区追手町4番16号
- イ 開 館 時 間 9時00分～18時00分（展示室入場は閉館30分前まで）
- ウ 休 館 日 月曜日（国民の祝日・休日にあたるときは開館、翌平日休館）、年末年始
※臨時開館・休館日あり
- エ 入 館 料

観覧料	個人	団体（20人以上）
一般	600円	480円
静岡市内居住70歳以上・高校生・大学生	420円	330円
小中学生	150円	120円
※未就学児、静岡市内居住・通学の小中学生は無料		

オ 建 物 構 造

鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階建
敷地面積：4990.51㎡ 建築面積：2284.96㎡ 延床面積：4885.86㎡

1階 歴史体感展示、市民活動室、学習支援室、講座室、家康公研究室、館長室、事務室・学芸員室、ボランティア・休憩室、トラックヤード、資料整理室、燻蒸室、機械室

2階 基本展示室、ホワイエ、機械室

3階 基本・企画展示室、展望ラウンジ、機械室

4階 一般収蔵庫、特別収蔵庫、機械室

竣工 令和4年6月

(2) 基本方針

地域の歴史に関する資料の収集、展示を行うとともに、歴史に関する調査研究及び地域の歴史的価値の発信を行うことにより、教育、学術及び文化の発展並びに歴史を媒介とした交流の促進に資する。

(3) 利用状況（令和6年度）

総入館者数：189,243人 展示観覧者数49,620人 ※学校等団体利用：6,205人

(4) 運営と事業

ア 運 営

歴史博物館は、次に掲げる事業を行う。

- (ア) 歴史に関する実物、模写、文献、写真等(以下「歴史資料」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- (イ) 歴史に関する調査研究に関すること。
- (ウ) 歴史に関する講演会等の開催に関すること。
- (エ) 歴史に関する知識の普及に関すること。
- (オ) 他の博物館その他教育、学術又は文化に関する諸施設との連携協力に関すること。
- (カ) 市民の歴史を通じた交流の場の提供及び市民の学習活動の支援に関すること。
- (キ) 歴史的価値の発信による交流の促進に関すること。

イ 主な事業内容（令和7年度）

企画展名	期 間	内 容
企画展示「明治維新と静岡 徳川慶喜、家達と 旧幕臣たち」	4月26日（土）～ 6月8日（日）	明治維新により静岡に移り、激動の歴史をたどり日本の近代史の行方に大きく影響した、徳川慶喜や旧幕臣の知られざる歩みを紹介する。
地域学習展示「十返舎一九と葛屋重三郎」	7月5日（土）～ 8月24日（日）	大河ドラマ「べらぼう」にちなみ、駿府出身で「東海道中膝栗毛」の作者である十返舎一九の軌跡と、江戸の出版文化をけん引した葛屋重三郎について紹介する。
企画展示「しずおかのお古仏たち」	10月25日（土）～ 12月7日（日）	霊山寺の仏像修復事業にちなみ、平安鎌倉期の静岡のお古仏を展示し、静岡のお仏教文化を紹介する。
特集展示「田安德川家史料寄託記念 徳川御三卿 田安德川家～静岡藩主家達の生家～」	1月24日（土）～ 3月8日（日）	明治に静岡藩主となった徳川家達の生家である田安德川家の歴史資料が当館に寄託されたことを記念して展示事業を実施する。これまで公開されたことのない資料をもとに、知られざる名門の姿に迫る。

IV 青少年健全育成

1 青少年育成事業

青少年を取り巻く環境は、少子・高齢化、情報化、国際化、人間関係の希薄化などにより大きく変化している。

このような中、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、様々な学習や体験の機会を充実し、指導者の養成及び青少年団体の活動支援を行うとともに、学校、地域、関係団体及び行政機関相互の連携を図りつつ、総合的な非行被害防止活動を推進する。

2 令和7年度 青少年育成主要事業計画

事業名	目的	内容
子ども・子育て・若者プラン進行管理	本市の子ども・子育て・若者に関する支援策を切れ目なく提供し、効果的かつ効果的な施策展開を実現するため、子ども・子育て・若者プラン実施計画を策定し、進行管理を行う。	子ども・子育て・若者プラン実施計画（R2～8）に基づき、各課が実施する施策・事業が着実に実施されるよう、事業の進捗状況の検証に努める。
青少年団体育成	青少年団体の事業費を助成し、安定的運営を図ることで青少年の健全な育成を推進する。	青少年団体に対する助成 静岡市子ども会連合会 他
補導活動	繁華街、公園、ゲームセンター、ショッピングセンター等、青少年の集まりやすい場所を巡回し、非行の未然防止に努める。	地域、学校、警察等と連携し、街頭補導を行う。 中央補導（市街地等）：月3～4回程度 地域・地区補導（地域・地区ごと）：月1～4回 特別補導（一斉、祭典時）：年4回程度
環境浄化活動	青少年の健全な育成に悪影響を及ぼすおそれのある社会環境の把握と改善を行う。	県条例に基づき、立入調査及び社会環境調査を実施し、書店、コンビニエンスストア、玩具店、カラオケボックス等の状況を把握するとともに、有害図書・玩具類の区分陳列や深夜入場制限の掲示などに関する指導を行う。
広報啓発活動	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図る。	7月の「青少年の被害・非行防止強調月間」及び11月の「子供・若者育成支援推進強調月間」にあわせ、街頭キャンペーン、啓発用リーフレットの配布、横断幕の掲出等を集中的に実施する。
青少年健全育成団体の支援	市内各地域の青少年健全育成団体に対し、事業費等を助成し、地域の健全育成活動を支援する。	交付先 50団体 活動内容 青少年健全育成大会の開催 「地域ふれあい♥あいさつ運動」の推進 青少年と大人と一緒に参加できる体験活動等の推進 補導活動、環境浄化活動の実施 善行青少年の表彰事業 インターネット等安全・安心利用研修事業など

3 青少年教育施設

自 然 の 家

自然の中で、少年たちが自然の豊かさにふれ、集団生活を通して社会性を育み、「生きる力」を育てること、また市民に自然探究などの自然学習の機会を提供することを目的とする社会教育施設

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

ア 概 要

設 立	昭和51年4月1日
所 在 地	静岡市葵区井川3055番地の1 TEL 054-260-2761 FAX 054-260-2219
自 然 の 家	宿泊棟、食堂棟、浴室、集会室、会議室、保健室
多 目 的 ホール	ホール、和室ほか
キャンプセンター	テントサイト、炊飯棟、便所、シャワー棟、バンガローほか

イ 事 業

(ア) 団体受入れ事業

小・中学校の利用（令和6年度利用校7校）、青少年団体等

(イ) 令和6年度主催事業

- ① 小・中学生対象自然体験事業 「トム・ソーヤ あきのにこにこキャンプ」等
- ② 親子・グループ対象事業 「井川deアウトドアクッキング入門」等

そ の 他 の 施 設

青少年研修センター

青少年団体の健全な育成並びに青少年の教養の向上及び心身の健全な育成を図ることを目的とした施設

ア 概 要

所 在 地	静岡市葵区駿府町2番80号（中央体育館3階）
規 模	会議室5室
収 容 定 員	18～60人
利用できる団体	青少年の教養の向上又は心身の健全な育成を目的とする団体であって、市内に居住し、又は市内の事業所に勤務する者15人以上により構成されるもののうち、教育長に申請して承認を受けたもの。
問 合 せ 先	こども若者応援課 TEL 054-221-1698